

松永駐パナマ日本国大使による当協会への表敬訪問

9月9日、駐パナマ日本国特命全権大使の松永一義氏が当協会を訪問され、長澤会長、明珍副会長、鎌田商船三井副社長執行役員、加藤副会長および篠原理事長との面談を行いました。

冒頭、長澤会長は、松永大使がパナマ共和国に着任した2024年以降、日本船主とパナマの友好関係の維持・発展や当協会の活動にご理解・ご支援頂いていることに感謝の意を表明するとともに、今後ともお力添えを賜りたいと述べました。

続いて松永大使からは、同国の政治や経済の最新動向から文化的な官民交流に至る幅広い内容についてご説明をいただきました。

その後の意見交換では、国際海上輸送の要衝であるパナマ運河を安全かつ安定的な通航環境を確保するためには同運河の機能強化に日本の官民が関与することが重要であるとの指摘があった他、パナマ政府との友好関係の一層の強化に取り組んでいくことを再確認しました。

当協会は、今後も同大使館をはじめとした関係当局と協力し、円滑な国際物流の確保を図るべく活動してまいります。



左から、加藤副会長、明珍副会長、松永大使、長澤会長、鎌田 MOL 副社長、篠原理事長